

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人櫻の木福祉会そら豆キッズ		
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 1日		令和 7年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 1日		令和 7年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和 6年 12月 1日		令和 7年 3月 21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10	(回答数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先とも良好な関係を築きながら支援に入れるようにしている。	利用児童や保護者だけでなく、訪問先のクラスの状況や先生方にも目を向け、丁寧に対応ができるようにしている。	それぞれの訪問先の特徴や方針、先生方のご意向なども把握し、保護者の方と先生方の関係性にも目を向けながら進めていく。
2	訪問先との関係構築を意識することで、保護者を含め、三者が協働して支援をすすめることができています。	担当の先生だけでなく、管理職の先生、関係機関等と連携し、共通理解のもと、円滑に支援が進むよう取り組んでいる。	保護者、訪問先、関係機関と連携し、継続して取り組んでいく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の不足。	訪問支援を担える職員の育成(時間も必要)や確保ができていない。	外部からの取り込みだけでなく、事業所内での育成が行えるよう、職員へのOJTや研修の機会の確保など行っていく。
2			
3			